

## 第1回検討会議で出された意見への対応

第1回検討会議で出された意見	対応内容
1) 検討会議の進め方について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>計画とは着実に進められることが一番大事であるので、ロードマップ（工程表）をしっかりと描き、担当者が変わっても進めていける計画を作り上げてほしい。中長期的なスパンを具体的に考えているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中長期的な工程表を示すとともに、PDCAサイクルに基づいて、5年を目途に計画の見直しを実施していくこととした。（資料1、P30）</li> </ul>
2) 自転車通行環境を取り巻く状況について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>本町通の自転車レーンの試行整備は規制を伴っていない。規制を伴わない場合、安全を担保する・しないに関わってくる。今後の整備についても法定外で行うのか、あるいは規制を伴った形としていくのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路状況等を考慮して規制を伴うパターンを示した。（資料1、P26）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車通行空間の現在の整備状況の図面が大阪市域のみの図面となっているが、ネットワークを考える上で、他都市との連続性も確認する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>隣接都市の整備状況及び計画を図に追加した。（資料1、P19）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>お年寄りや小さい子どもがゆっくり走れる部分として、歩道を色分けしている部分は残してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺部で既に色分けされている自転車歩行者道の活用方法を示した。（資料1、P22、27）</li> </ul>
3) 自転車ネットワーク計画の検討内容について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>限られたお金で整備を進めていくには、もう少し費用を絞った整備形態を考えると、大阪式の新しい考え方がないと、国のガイドラインがあるからだけでは理解してもらえない気がする。</li> <li>速い自転車が一方方向に走るということが重要で、左側通行を徹底することが事故を減らすことにつながっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果の早期発現を目的として、車道左側通行を周知・誘導する路面表示を整備する重点整備の実施内容を示した。（資料1、P29）</li> </ul>